

人 体 構 造 系 II

責 任 者	氏 名	弦 本 敏 行	内 線	7021
	教 室	肉眼解剖学 (解剖学第二)	e-mail	tsurumot@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	18:00-19:00		

対象年次・学期	2年・前期	講義形態	実習
必修・選択	必修	単位数	3.5
英語名	Human Body Structure 2		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：解剖学実習は御遺体にメスを入れるという特殊な実習でもあるので、知的修得ばかりでなく「心の学習」の場でもあることを自覚、認識して臨まなくてはならない。人体構造系は「肉眼解剖学」の知識を習得する学問である。講義並びに実習を通して人体の諸構造を理解するための解剖学的知識を修得するとともに、解剖学以外の基礎医学、臨床医学、社会医学などを学ぶための基礎学力をも身につける。その際学ぶ解剖学用語は、一つ一つの概念を表現するために約束された記号であり、かつ将来、臨床医学を学ぶ上で必須の公用語でもある。また、解剖学実習は剖検した構造物を自分の目で観察し正確に記載してゆくという科学的学習態度の初歩を身につける機会として位置づけられる。

到達目標：人体の肉眼解剖学的な種々の諸構造について、適切な解剖学用語を用いて具体的に説明できる。

2. 授業内容

解剖学実習を決められた手技に則って行う。

3. 教科書、参考書等 (★は教科書、必携)

書 名	著 者	出版社	定価(税抜)
★ Grant 解剖学実習	新井良八 監訳	西村書店	4,800 円
★ Netter 解剖学アトラス	相磯貞和 訳	南江堂	10,000 円
★ Gray 解剖学 (for students)	塩田浩平 他訳	エルゼビア・ジャパン	10,000 円
分担解剖学 1 (総説・骨学・筋学)	小川鼎三、森 於菟他	金原出版	9,300 円
分担解剖学 2 (脈管学・神経系)	平沢 興 他	金原出版	10,600 円
分担解剖学 3 (感覚器学・内臓学)	小川鼎三 他	金原出版	8,600 円

4. 成績評価の方法・基準

解剖学実習について、口答試験および筆答試験を行う

- (1) 受験資格 原則として皆出席
- (2) 試験と評価
 - 実習中に口答ないし筆答試験を行う
 - 本試験
 - 再試験
 再試験後、口答試験結果、課題レポート等も併せて、総合的に評価する

5. 教員名

解剖学第二：弦本敏行、岡本圭史、分部哲秋、佐伯和信

6. 備考 (解剖学実習事前学習等について)

- (1) 解剖学実習をプログラム通りに進行させるためには解剖内容の正確な理解が必要であり、十分な予習を必要とする
 - 1) 配布するプリントの一般的解剖手技を十分学習し、各構造物の剖出の仕方を実践できるようにしておく
 - 2) 実習プログラムに沿って予習しておく

- ①解剖の大きな流れは3～4回先まで把握する
 - ②頁ごとの手順を理解し、剖出すべき構造物について予習ノートを作成する
 - ③実習日での事前学習は困難であるので、休日等を利用してできるだけ先へ進めておく
- (2) 実習中は各班にiPadを貸与するが、教科書は必ず購入すること
 - (3) 事前に配布される諸注意に沿って、実習に必要な物を注文・購入しておくこと
 - (4) 9月25日に催される解剖体慰霊祭には、ご遺族が出席されます。節度ある身なり・服装・態度をもって必ず出席してください。

人体構造系Ⅱ授業予定（2年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	4	金	3 4	解剖学実習 1	実習オリエンテーション (解剖学実習総論)	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	第2
4	9	水	3 4	解剖学実習 2	解剖体安置、洗滌 背部の皮剥	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
4	11	金	3 4	解剖学実習 3	背部の皮下	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
4	16	水	3 4	解剖学実習 4	背部浅層	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
4	18	金	3 4	解剖学実習 5	頸部・胸部・腹部の皮剥と皮下	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
4	23	水	3 4	解剖学実習 6	頸部浅層 浅胸筋	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
4	25	金	3 4	解剖学実習 7	頸部深層 腋窩	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
4	30	水	3 4	解剖学実習 8	上肢離断 側腹筋、前腹筋	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
5	2	金	3 4	解剖学実習 9	胸郭・腹腔の開放	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
5	7	水	3 4	解剖学実習 10	胸膜、肺、心臓、縦隔 上肢の皮剥と皮下	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
5	9	金	3 4	解剖学実習 11	肩部、上腕伸側	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
5	14	水	3 4	解剖学実習 12	心臓、縦隔、腹膜 上腕屈側	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
5	16	金	3 4	解剖学実習 13	前腕伸側、手背 小腸・大腸	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
5	21	水	3 4	解剖学実習 14	前腕屈側、手掌 小腸・大腸	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
5	23	金	3 4	解剖学実習 15	前腕屈側、手掌	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
5	28	水	3 4	解剖学実習 16	上腹部内臓 骨盤・会陰・殿部の皮剥と皮下 外性器♂、会陰♀	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室

人体構造系Ⅱ授業予定（2年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
5	30	金	3 4	解剖学実習17	上腹部内臓、胃腸管の摘出	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
6	4	水	3 4	解剖学実習18	後腹膜臓器、横隔膜	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
6	6	金	3 4	解剖学実習19	背部深層	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
6	11	水	3 4	解剖学実習20	下肢の皮剥と皮下	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
6	13	金	3 4	解剖学実習21	後腹壁、腰椎離断 頭部離断・環椎後頭関節開放 硬膜・内頭蓋底	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
6	18	水	3 4	解剖学実習22	骨盤内臓器（♂・♀）、坐骨肛門窩 顔面の皮剥と皮下	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
6	25	水	3 4	解剖学実習23	骨盤の血管・神経 咽頭・喉頭、頭部折半	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
7	2	水	3 4	解剖学実習24	顔面浅層	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
7	3	木	3 4	解剖学実習25	顔面深層 大腿伸側・内側	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
7	9	水	3 4	解剖学実習26	顔面深層、鼻腔 殿部、大腿屈側	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
7	10	木	3 4	解剖学実習27	口蓋、口腔 下腿屈側、足底	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
7	16	水	3 4	解剖学実習28	眼窩、耳 下腿屈側、足底	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
7	17	木	3 4	解剖学実習29	下腿外側・伸側	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
7	23	水	3 4	解剖学実習30	上肢・下肢の関節	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室
7	24	木	3 4	解剖学実習31	納棺、実習室清掃	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	解剖 実習室

発 生 ・ 組 織 系 II

責任者	氏名	小路 武彦	内線	7027
	教室	解剖学第三 (組織発生解剖学)	e-mail	tkoji@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	(木) 16:30~18:00		

対象年次・学期	2年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Human development and Histology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

医師となるために必要とされる正常人体組織学と発生学の基礎知識を修得する。それらの知識と組織標本観察力は、病理組織学を始め後に続いて修得する基礎および臨床科目を十分に理解するのに必要である。よって、それら諸科目との関連性を強調しながら、現代発生学および組織学の知識のエッセンスを伝えたい。

本講義により顕微鏡像から組織・器官を特定でき、その形態的特徴を適切な用語を用いて説明できることを到達目標とする。また、各器官の発生学についても説明できる事とする。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

講義と平行して組織学の実習を行い、実習内容を毎回チェックする。講義は第一講義室で行い、実習は第二実習室で行う。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
教科書			
カラー機能組織学 (原著第2版)	J. B. Kerr	医歯薬出版	10,500 円
標準組織学 総論 (4版)	藤田尚男、藤田恒夫	医学書院	8,925 円
標準組織学 各論 (4版)	藤田尚男、藤田恒夫	医学書院	12,600 円
参考書			
The Developing Human: Clinically Oriented Embryology (9版)	K. L. Moore & T. V. N. Persuad	Saunders	6,207 円
標準細胞生物学 (2版)	石川春律、近藤尚武 柴田洋三郎 編	医学書院	5,670 円
ラングマン人体発生学 (10版)	T. W. Sadler	医歯薬出版	8,820 円
ムーア人体発生学 (8版)	K. L. Moore	医歯薬出版	12,600 円
永遠の不死：精子形成細胞の生物学	小路武彦 編	サイエンス社	2,310 円

4. 成績評価の方法・基準

成績の評価は、学期末に行うカラースライドを用いたペーパーテストにより行う。また、予告無しの中間テストも行われる。なお、期末試験の受験には講義及び実習時間数の2/3以上の出席が必要であり、これに満たない場合は失格となる。

組織学講義分野40点、組織学実習分野60点の100点満点とし、合計点が60点以上で、1分野の得点が45%以上である場合を合格とする。再試験は年度末に1回だけ行う。

5. 教員名

解剖学第三 : 小路武彦、福田智美、遠藤大輔、穂山直太郎
 口腔解剖第一 : 真鍋義孝
 第二内科 : 西野友哉
 非常勤講師 : 藤田守、菱川善隆、江島邦彰

6. 備考 (準備学習等)

一年次の「Human Biology」で学んだ内容を復習しておくこと。

発生組織系Ⅱ授業予定（2年前期）

	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	3	木	2	細胞組織の概念 上皮組織	・分類 ・上皮細胞間の特殊分化 ・腺（唾液腺）	解剖3・小路	第1
			3	実習説明	諸注意、顕微鏡引渡し	解剖3・小路 福田 遠藤 穂山	実2
			4	上皮組織	実習		
4	10	木	2	支持組織	・結合組織 ・軟骨 ・血液・リンパ	解剖3・小路	第1
			3		実習	解剖3・小路 福田 遠藤 穂山	実2
			4				
4	17	木	2	筋組織 脈管系 リンパ性器官	・平滑筋 ・骨格筋 ・心筋	解剖3・小路	第1
			3		・心臓脈管系の発生 ・毛細血管 ・動脈 ・静脈	非常勤・江島	
			4		・リンパ性器官の発生 ・リンパ節 ・脾臓 ・胸腺	解剖3・遠藤	第1 もしくは 実2
			4		実習	解剖3・小路 福田 遠藤 穂山 非常勤・江島	
4	24	木	2	筋組織 脈管系 リンパ性器官	実習	解剖3・小路 福田 遠藤 穂山	実2
			3				
			4				
5	1	木	2	消化器系(I)	・消化管の発生 ・咽頭 ・食道 ・胃 ・小腸 ・大腸	非常勤・藤田	第1
			3		実習	解剖3・小路 福田 遠藤 穂山 非常勤・藤田	実2
			4				
5	8	木	2	消化器系(II)	・肝臓、胆嚢の発生 ・肝臓と胆嚢 ・膵臓の発生 ・膵臓	非常勤・菱川	第1
			3		実習	解剖3・小路 福田 遠藤 穂山 非常勤・菱川	実2
			4				

発生組織系Ⅱ授業予定（2年前期）

	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
5	15	木	2	呼吸器系	・呼吸器系の発生 ・喉頭	解剖3・福田 実習	第1 実2
			3		・鼻腔 ・気管 ・肺		
			4				
5	22	木	2	消化器系（口腔）	・口腔 ・歯	口腔解剖1・真鍋 解剖3・小路 福田 遠藤 穂山	第1 実2
			3		実習		
			4				
5	29	木	2	泌尿器系	・泌尿器系の発生 ・尿管 ・膀胱 ・腎臓 ・尿道	内科2・西野 解剖3・小路 福田 遠藤 穂山	第1 実2
			3		実習		
			4				
6	5	木	2	男性生殖器系	・男性生殖器系の発生 ・精巣 ・精路とその付属腺	解剖3・小路 解剖3・小路 福田 遠藤 穂山	第1 実2
			3		実習		
			4				
6	12	木	2	女性生殖器系	・女性生殖器系の発生 ・卵巣・卵管・子宮・膣 ・外陰部・胎盤・乳腺	非常勤・江島 解剖3・小路 福田 遠藤 穂山 非常勤・江島	第1 実2
			3		実習		
			4				
6	19	木	2	内分泌系(I)	・下垂体 ・甲状腺 ・上皮小体	解剖3・遠藤 解剖3・小路 福田 遠藤 穂山	第1 実2
			3	特殊染色実習			
			4				
6	26	木	2	内分泌系(II)	・松果体 ・副腎 ・消化管の 内分泌 ・パラガングリオン	解剖3・遠藤 解剖3・小路 福田 遠藤 穂山	第1 実2
			3		実習		
			4				

動物性機能系

責任者	氏名	篠原 一之	内線	7033
	教室	生理学第二 (神経機能学)	e-mail	kazuyuki@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30～17時30分		

対象年次・学期	2年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Neurobiology and Behavior		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

動物性機能生理学では脳および神経の機能について学習する。最近急速に発展した脳・神経機能を学ぶためには、神経細胞レベルからヒトの認知・行動レベルまで、トータルに学ばねばならない。そこで、授業では、脳・神経科学を、1) 体の内外からの情報を受けて解釈する感覚系、2) 情報に基づいて判断を行う統合系、3) 行動を組織して実行する運動系、に分けて、それぞれ分子レベルから現象レベルまで統合的に理解し、脳・神経系学問領域における思考力を養う。

最近、脳・神経科学領域の進歩は目まぐるしい。膨大な情報の中から、将来医師となった時に知っておくべき、基礎的知識から最先端医療に応用可能な知識を授業で学ぶ。具体的には、神経細胞の情報伝達機構、神経再生、脳の統合機能（記憶、情動、本能）、感覚受容・知覚等のテーマについて、統合的システムとして理解できるようになり、脳・神経科学関連疾患の病態、病因、治療についての考察ができることも目標とする。

講義で使用したスライドはWebサイト (<http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/physlgy2/>) にアップロードする (学内のみ閲覧可能)。また、授業内容の予定やまとめも上記サイトに載せるので、予習、復習に活用すること。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

講義：神経科学に含まれる事象について、細胞レベル、運動系の末梢から中枢まで、感覚系、統合的脳機能へと、そのメカニズムと全体における位置付けを重要視しながら、発展的に進めていく。項目によっては各専門家を呼び、高度な最新の内容をわかりやすく講義してもらう。

実習：人体を用いた神経、筋の興奮現象の測定を体験し、観察される現象の機構を説明できるようにする。感覚系および中枢を介した反応についていくつかの課題を実行し、背景となる神経機構についての基本的性質を考察し理解する。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
人体生理学	篠原一之 他共著	朝倉書店	3,800 円
生理学テキスト	大地陸男 著	文光堂	4,800 円
標準生理学	本郷 利憲 他共著	医学書院	12,600 円
ニューロンの生物学	Fred Delcomyn (小倉明彦・富永恵子訳)	南江堂	8,800 円
第3版カールソン 神経科学テキスト	Heil. R. Carlson	丸善	18,900 円
Principles of Nueral Science	Eric. R. Kandel	McGraw-Hill Companies	10,669 円

4. 成績評価の方法・基準

原則として筆答試験による。（実習も考慮する。）

5. 教員名

生理学第二：篠原一之、西谷正太、藤澤隆史、土居裕和

耳鼻咽喉科：高橋晴雄

眼科：北岡 隆

麻酔科：北條美能留

歯学部・口腔生理：岡田幸雄

非常勤講師：内匠 透（広島大学）

友田明美（福井大学）

6. 備考（準備学習等）

動物性機能系授業予定（2年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	4	金	2	入門	神経科学の基礎と歴史	生理2 篠原	第2
4	9	水	1	入門	神経系を構成する諸要素（形態・機能・分子）	生理2 末神	第2
4	11	金	2	興奮	静止状態のニューロンと膜電位	生理2 土居	第2
4	16	水	1	興奮	ニューロンの興奮とその伝導	生理2 土居	第2
4	18	金	2	シナプス	シナプス伝達	生理2 西谷	第2
4	23	水	1	シナプス	神経伝達物質の放出と受容体	生理2 掛山	第2
4	25	金	2	神経細胞死	神経細胞の死	生理2 西谷	第2
4	30	水	1	神経細胞死	神経細胞の再生	生理2 篠原	第2
5	2	金	2	運動系	骨格筋の構造・機能	生理2 掛山	第2
5	7	水	1	運動系	運動系システムの階層性	生理2 西谷	第2
5	9	金	2	運動系	脊髄反射	生理2 掛山	第2
5	14	水	1	運動系	大脳基底核	生理2 西谷	第2
5	16	金	2	運動系	小脳	生理2 土居	第1
5	21	水	1	運動・感覚	運動と感覚の連関	生理2 土居	第2
5	23	金	2	統合脳	高次感覚機能	生理2 掛山	第1
5	28	水	1	感覚系	体性感覚	生理2 末神	第2
5	30	金	2	感覚系	味覚	口腔生理 岡田	第1
6	4	水	1	感覚系	視覚	眼科 北岡	第2
6	6	金	2	感覚系	痛覚	麻酔科 北條	第1
6	11	水	1	感覚系	平衡感覚	生理2 掛山	第2
6	13	金	2	感覚系	聴覚	耳鼻科 高橋	第1
6	18	水	1	感覚系	嗅覚	生理2 篠原	第2
6	20	金	2	統合脳	生体リズム	明治大学 中村	第1
6	20	金	3	生理学実習	1. 誘発筋電図、脳機能計測	生理2 篠原・掛山・ 土居・西谷・ 末神	実1/2
			4		2. 神経情報学		

動物性機能系授業予定（2年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	25	水	1	統合脳	意識と注意	生理2 土居	第2
6	27	金	2	統合脳	脳機能の分子的基盤	理研 内匠	第1
			3	生理学実習	1. 誘発筋電図、脳機能計測	生理2 篠原・掛山・ 土居・西谷・ 末神	実1/2
			4		2. 神経情報学		
7	2	水	1	統合脳	本能行動（視床下部）	生理2 掛山	第1
7	4	金	2	統合脳	情動（大脳辺縁系）	生理2 篠原	第1
			3	生理学実習	1. 誘発筋電図、脳機能計測	生理2 篠原・掛山・ 土居・西谷・ 末神	実1/2
			4		2. 神経情報学		
7	9	水	1	統合脳	学習と記憶（脳内メカニズム）	生理2 篠原	第1
7	11	金	2	統合脳	学習と記憶（シナプスの可塑性）	生理2 篠原	第1
			3	生理学実習	1. 誘発筋電図、脳機能計測	生理2 篠原・掛山・ 土居・西谷・ 末神	実1/2
			4		2. 神経情報学		
7	16	水	1	統合脳	睡眠と脳波	生理2 篠原	第1
7	18	金	2	統合脳	発達に伴う脳の可塑性	福井大学 友田	第1
			3	生理学実習	1. 誘発筋電図、脳機能計測	生理2 篠原・掛山・ 土居・西谷・ 末神	実1/2
			4		2. 神経情報学		
7	23	水	1	統合脳	大脳連合野	生理2 末神	第1

内 臓 機 能 ・ 体 液 系 II

責 任 者	氏 名	蒔田 直昌	内 線	7031
	教 室	分子生理学 (生理学第一)	e-mail	nagasakimp@gmail.com
	オフィスアワー	講義曜日の17:00～		

対象年次・学期	2年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Physiology of Visceral Function and Body Fluid II		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

正常の生命現象を主として機能的な側面から探求することによって、「命がどうできているか」という医学の基礎知識を学ぶ。臨床においても、生体の生理現象や病的状態を個体・臓器・細胞・遺伝子という異なるレベルで観察・考察し、知識を臨床に応用させることの重要性を体験する。

- 1) 個々の内臓機能を学ぶ臓器の生理学を基礎に、恒常性維持のための統合的調節機構の観点から生体機能を理解できるよう講義を行う。
- 2) 実習では循環、呼吸、血糖調節機能の実習を体験することにより基本的な知識の応用力と臨床生理学的知識の獲得をはかる。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

講義項目

- 1) 循環器
- 2) 腎臓・排泄
- 3) 体温調節
- 4) 内分泌・代謝
- 5) 消化器

実習項目

- 1) 心電図・肺機能
- 2) 心音・血圧・心エコー
- 3) 循環反射・消化器
- 4) 血糖調節

講義は教科書の図を中心にパワーポイントで説明を交えて行う。講義用スライド・資料は各自以下のURLからダウンロードすること。基本的に、紙の資料は配布しない。

- ・ 分子生理学HP <http://www.nagasaki-molphys.org>
- ・ 長崎大学Web Class <https://webclass.cc.nagasaki-u.ac.jp/webclass/login.php>

3. 教科書

書 名	著 者	出 版 社	本体価格
標準生理学 第8版	小澤滯司 他	医学書院	12,000円
ギャノン生理学 24版	岡田泰伸 他	丸善	10,000円
ボロン プールペーパー 生理学	泉井 亮 他	西村書店	9,500円

4. 成績評価の方法・基準

実習は全て履修し、レポートを提出する(手書きのこと。PC入力、コピーは認めない)。期末試験は、試験範囲を分子生理学(循環器、腎臓・排泄、体温調節)と原研医療(内分泌・代謝、消化器)に分け、同時に実施する。それぞれの試験範囲について60点以上を合格とし、不合格の範囲に対して再試験を1回行う。期末試験の結果、出席、実習レポートで成績を評価する。試験の受験資格、追試験に関しては医学部の規定通り。

5. 教員名

講義担当

- 分子生理学： 蒔田直昌・辻 幸臣・石川泰輔
 原研医療： 山下俊一・光武範吏
 循環器内科： 前村浩二
 非常勤講師： 望月直樹(国立循環器病研究センター)・井上靖久(活水女子大学)・松本逸郎(活水女子大学)・児島将康(久留米大学)

実習担当

- 蒔田直昌・辻 幸臣・石川泰輔・Daniel T. Harrell (TA)

内臓機能・体液系Ⅱ 予定表(2年前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	3	木	1	腎・排泄1	腎臓の構造と機能	生理1・辻	第2
4	9	水	2	循環器1	心臓の構造・心筋の構造・イオンチャンネル	生理1・蒔田	第2
4	10	木	1	腎・排泄2	糸球体、傍糸球体装置	生理1・辻	第1
4	16	水	2	循環器2	心臓の自動性・膜電位・活動電位	生理1・蒔田	第2
4	17	木	1	腎・排泄3	尿細管の機能、再吸収、尿の濃縮	生理1・辻	第1
4	23	水	2	循環器3	心筋の興奮伝導と収縮の連関	生理1・蒔田	第2
4	24	木	1	腎・排泄4	電解質の再吸収と分泌、クリアランス	生理1・辻	第1
4	30	水	2	循環器4	ポンプとしての心臓	生理1・蒔田	第2
5	1	木	1	循環器特別講義	特別講義	生理1・非常勤講師 望月	第1
5	7	水	2	循環器5	心血管系の形態と機能	生理1・非常勤講師 井上	第2
5	8	木	1	循環器特別講義	循環生理と臨床医学の接点	循環器内科・前村	第1
5	14	水	2	循環器6	心電図(1)	生理1・蒔田	第2
5	15	木	1	腎・排泄5	血圧の調節、中枢神経系による調節(ホルモンと自律神経系)	生理1・辻	第2
5	21	水	2	循環器7	心電図(2)	生理1・蒔田	第2
5	22	木	1	腎・排泄6	排尿反射、酸塩基平衡の腎の代償	生理1・辻	第2
5	28	水	2	循環器8	血管の機能・構造	生理1・蒔田	第2
5	29	木	1	循環器9	静脈系、リンパ系、微小循環	生理1・蒔田	第2
6	4	水	2	循環器10	局所循環(冠、脳、肝)	生理1・蒔田	第2
6	5	木	1	循環器11	心臓中枢、血管中枢、循環反射	生理1・蒔田	第2
6	11	水	2	体温調節1	基礎代謝と体温調節	生理1・非常勤講師 松本	第2
6	12	木	1	体温調節2	高体温(発熱とうつ熱)と低体温の病態生理	生理1・非常勤講師 松本	第2
6	18	水	2	内分泌・代謝1	内分泌総論	原研医療・山下	第2

内臓機能・体液系Ⅱ 予定表(2年前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	19	木	1	実習の説明	実習の説明	生理1 石川	第2
6	20	金	3	実習1	グルコース負荷試験、心音・血圧測定、超音波検査法(心臓・腹部内臓)、心電図、肺機能検査	生理1 蒔田・辻・石川	実1/2
6	20	金	4				実1/2
6	25	水	2	内分泌・代謝2	視床下部、下垂体	原研医療・山下	第2
6	26	木	1	内分泌・代謝3	甲状腺、副甲状腺	原研医療・山下	第2
6	27	金	3	実習2	グルコース負荷試験、心音・血圧測定、超音波検査法(心臓・腹部内臓)、心電図、肺機能検査	生理1 蒔田・辻・石川	実1/2
6	27	金	4				実1/2
7	2	水	2	内分泌・代謝4	副腎、性腺	原研医療・山下	第1
7	3	木	1	内分泌・代謝5	心血管内分泌	原研医療・山下	第1
7	3	木	2	内分泌・代謝 特別講義	特別講義	久留米大・児島	第1
7	4	金	3	実習3	グルコース負荷試験、心音・血圧測定、超音波検査法(心臓・腹部内臓)、心電図、肺機能検査	生理1 蒔田・辻・石川	実1/2
7	4	金	4				実1/2
7	9	水	2	内分泌・代謝6	骨代謝	原研医療・山下	第1
7	10	木	1	内分泌・代謝7	同化と異化	原研医療・山下	第1
7	10	木	2	消化器1	消化器総論	原研医療・光武	第1
7	11	金	3	実習4	グルコース負荷試験、心音・血圧測定、超音波検査法(心臓・腹部内臓)、心電図、肺機能検査	生理1 蒔田・辻・石川	実1/2
7	11	金	4				実1/2
7	16	水	2	消化器2	上部消化管	原研医療・光武	第1
7	17	木	1	消化器3	下部消化管	原研医療・光武	第1
7	18	金	3	実習5	グルコース負荷試験、心音・血圧測定、超音波検査法(心臓・腹部内臓)、心電図、肺機能検査	生理1 蒔田・辻・石川	実1/2
7	18	金	4				実1/2
7	23	水	2	消化器4	肝胆膵	原研医療・光武	第1

医 と 社 会 II

責任者	氏名	安武 亨	内線	7987
	教室	先端医育支援センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	医と社会7.5単位の一部
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

病める人と良好なコミュニケーションが行え、病気を診るだけでなく病める人の心とおかれている環境を洞察しうる医師となる。病気を治療するだけでなく医療チームや家族と力を合わせ、患者の家庭や社会への復帰と社会の偏見を克服して患者の社会参加を真摯にめざす医師となる。

患者の立場に立った医療を行える医師を目指すために、老健施設、障害者リハビリ施設などの体験を通して、患者との良好なコミュニケーションのとり方、患者の診察法、チーム医療の重要性を理解する。また病気に苦しんでいる人および身障者の人達と接する際の医学生としての基本的マナーや心構えおよび対応の仕方などを学ぶ。また、地域包括ケアシステムを理解し、診療機具を実際に操作する中で、診療の心得を習得する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

A 医療と人間（保健学科と共修）

人の心の発達、性と生、高齢期を生きる、医療人と患者及び家庭との関係の4区分で講義を行い、問題意識を深める課題を各講義で提示する。学生は課題を選びレポートを提出する。

1. 性と生

人間の性、リプロダクティブヘルス&ライツ、QOLとしての性、ドメスティックバイオレンス

2. 人の心の発達

子供と社会、乳幼児と親の心、学童期と思春期の心の発達

3. 高齢期を生きる

地域における高齢者の生活を考える、高齢期介護の実際、認知症高齢者を家族と地域で支える

4. 医療人と患者及び家族との関係

私の考える理想の医師像、ターミナルケア、ホスピス、自助グループ活動と医療人の役割

B Early Exposure（医学科）

老健施設及び障害者リハビリ施設体験実習に参加し、体験に基づいたレポートを作成する。

C 診療の心得（診療マナー、バイタルサインの取り方、超音波や心電計等の基本操作）

3. 教科書、参考書等

各講義の最初の時間に紹介する。

4. 成績評価の方法・基準

A：4つの各区分のうち課題を選んでレポートを提出する。

B：体験に基づいたレポートを提出する。

レポート、出欠状況などを総合して評価する。講義・実習には全て出席すること。講義を欠席した学生には別途課題を課す。

C：出欠状況、実習態度などを総合して評価する。

5. 教員名

委員：医育支援センター：安武亨、田中邦彦、分部哲秋、桑原宏永、保健学科教務委員

A 1：安日泰子（やすひウィメンズヘルスクリニック）、中村まり子（在宅助産師）、中田慶子（DV防止ながさき）

A 2：川原ゆかり（長崎短期大学保育学科）、福田雅文（みさかえの園むつみの家）、小柳憲司（長崎県立こども医療福祉センター診療部）、

A 3：石松隆和（長崎大学工学部）、陣野紀代美（長崎市医師会保健福祉センター）、菅崎弘之（すがさきクリニック）、

A 4：山口明（長崎市鶴の尾町自治会）、中尾勘一郎（ホーム・ホスピス 中尾クリニック）、講師未定（長崎県こども・女性・障害者支援センター）、中川賀雅（ダルク）

B, C：医育支援センター：安武亨、田中邦彦、分部哲秋、桑原宏永

地域包括ケア教育センター：永田康浩、久芳さやか、石居公之、植木郁子、
牟田久美子、松坂雄亮、濱口由子

地域医療学：前田隆浩、清水悠路、門田耕一郎、田山淳（保健・医療推進センター）

保健学科：中尾理恵子

非常勤：江田佳子（佐々町保健師）

6. 備考

学外実習については、オリエンテーションを行うので実施要項に従う。

医と社会Ⅱ 授業予定(2年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容		担当講座等・教員	教室
9	24	水	3	性と生1	オリエンテーション	人間の性、概論	医育支援センター、非常勤・安日(保健学科と共修)	第4
			4	性と生2		QOLとしての性	非常勤・中村(保健学科と共修)	
10	1	水	3	高齢期を生きる1	地域における高齢者の生活を考える		工学部・石松(保健学科と共修)	第4
			4	医療人と患者及び家族との関係1	私の考える理想の医師像	体験談その1	非常勤・山口(保健学科と共修)	
10	8	水	3	性と生3	ドメスティックバイオレンス		非常勤・中田(保健学科と共修)	第4
			4	高齢期を生きる2	高齢者介護の実際		非常勤・陣野(保健学科と共修)	
10	15	水	3	人の心の発達1	子供と社会 児童虐待の現状から		非常勤・川原(保健学科と共修)	第4
			4	人の心の発達2	乳児と親の心		非常勤・福田(保健学科と共修)	
10	22	水	3	人の心の発達3	子供の心の発達、学童期、思春期		非常勤・小柳(保健学科と共修)	第4
			4	医療人と患者及び家族との関係2	ターミナルケア	患者とのコミュニケーション	非常勤・中尾(保健学科と共修)	
10	29	水	3	高齢期を生きる3	認知症高齢者を家族と地域で支える		非常勤・菅崎(保健学科と共修)	第4
			4	医療人と患者及び家族との関係3	自助グループ活動と医療人の役割、体験談その2		非常勤・未定 非常勤・中川(保健学科と共修)	
11	5	水	3	地域包括	医と社会		医育支援センター、地域医療学、地域包括ケア教育センター	第4
			4		診療の心得			
					A	B		
11	12	水	3	地域医療	田山(保健医療推進センター)	診療の心得	地域医療学・離島へき地学	第1
			4		中尾(保健学科)		医育支援センター、地域医療学、地域包括ケア教育センター	
11	19	水	3	地域医療	診療の心得	田山(保健医療推進センター)	地域医療学・離島へき地学	第1
			4			中尾(保健学科)	医育支援センター、地域医療学、地域包括ケア教育センター	
11	26	水	3	地域包括	接遇について		医育支援センター・地域医療学・地域包括ケア教育センター	第1
			4					
12	3	水	3	地域包括	介護について		医育支援センター、地域医療学、地域包括ケア教育センター	第1
			4	地域医療	学外講師・江田		地域医療学	
12	10	水	3	地域包括	老健施設について		医育支援センター、地域医療学、地域包括ケア教育センター	第1
			4	Early Exposure	オリエンテーション		医育支援センター	
12	17	水	1	Early Exposure	高齢者診療施設(老健施設)	診療の心得	医育支援センター	第1
			2					
			3				医育支援センター、地域医療学、地域包括ケア教育センター	
			4					
12	24	水	1	Early Exposure	診療の心得	高齢者診療施設(老健施設)	医育支援センター	第1
			2					
			3				医育支援センター、地域医療学、地域包括ケア教育センター	
			4					

神 経 ・ 感 覚 器 系 II

責 任 者	氏 名	森 望	内 線	7017
	教 室	神経形態学 (解剖学第一)	e-mail	morinosm@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	火曜日の16:00-18:00		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義・実習・演習
必修・選択	必修	単位数	0.5
英語名	Neuroanatomy of the human brain		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

実物のヒト脳（ご遺体の死後脳）の解剖を通して、ヒトの脳の構造的成り立ちを理解することを目的とする。立体的な理解を深めるとともに、神経解剖学用語（日英）についても改めて学習し、正確な記憶に努める。

2. 授業内容（講義・実習項目）

実習直前の授業は、1年時の神経解剖学講義（「神経・感覚器系 I」）の復習と実習へ向けてのオリエンテーションとする。4人で一グループとし、各グループで協力してご遺体の脳による系統的な脳解剖実習を行う。脳血管系の観察から脳全体の構造把握、脳幹部と小脳の離断観察のち、脳の内部構造、脳断面の観察へと進む。毎回の実習で、現場での観察と記録を重視する。神経解剖学用語（日英）についても改めて理解を深める。

3. 教科書、参考書等 （★ は教科書、必携）

書 名	著 者	出版社	定 価
★神経解剖実習書	神経形態学 (解剖学第一) 教室篇		(非売品)
★解剖学アトラスⅢ神経系と感覚器 (第6版)	W.Kahle (著)、平田 (訳)	文光堂	5,600円

4. 成績評価の方法・基準

実習レポート50%、期末試験50%とするが、講義・実習・演習への参加態度も含めて総合評価する。

5. 教員名

解剖学第一：森 望、安田邦彦、他

6. 備考（準備学習等）

実習前に教科書（アトラス）等によく復習しておくこと。

神経・感覚器系Ⅱ授業予定（2年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
11	21	金	3	講義	神経解剖総復習（実習前総括講義）	森	第1
11	21	金	4	講義	脳解剖実習オリエンテーション	森・安田	第1
11	28	金	3	実習1	脳の外観、脳膜、脳底、血管系の観察	森・安田	解剖実習室
11	28	金	4	実習2	大脳皮質外側面（回と溝）の観察	森・安田	解剖実習室
12	5	金	3	実習3	小脳・脳幹の離断、小脳の解剖	森・安田	解剖実習室
12	5	金	4	実習4	脳幹の解剖、脳神経の観察	森・安田	解剖実習室
12	12	金	3	実習5	大脳半球正中断、内側面の観察、海馬、帯状束、脳弓の剖出	森・安田	解剖実習室
12	12	金	4	実習6	島、連合線維、レンズ核、放線冠の剖出	森・安田	解剖実習室
12	19	金	3	実習7	大脳半球前頭断面の観察	森・安田	解剖実習室
12	19	金	4	実習8	大脳半球水平断面の観察	森・安田	解剖実習室
1	9	金	2	講義	脳の肉眼解剖総復習	森	第1
1	16	金	2	講義	神経解剖学用語総復習	森	第1

感 染 系

責任者	氏名	西田 教行	内線	7059
	教室	感染分子解析学	e-mail	noribaci@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日午後4時30分から6時30分		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	3.5
英語名	Medical Microbiology and Parasitology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

感染系ではヒトに感染し、病気を起こす微生物（ウイルス・細菌・真菌・原虫・ぜん虫）の生物学的特性と生活環について学び理解する。さらに病気を起こすメカニズムを学び、この授業の終了後には、主要な病原体のもつ生物学的特徴と、感染の結果どのようなメカニズムで発症するのか説明できる。また病原体の地理的分布や、発生頻度、流行状況についての基本的な疫学事項を述べることができる。さらに、これらの治療やワクチンその他による予防法についても説明できる。講義と実習を通しての知識の習得にとどまらず、グループ研究を通して自ら疑問をもち、問題を発見し問題解決力を養うことを目指している。

2. 授業内容（講義・実習項目）

授業はウイルス学・細菌学（真菌を含む）・寄生虫学（原虫を含む）に大別して行い、学内外の専門家による分担講義とする。各論的内容はグループ学習と発表を中心に行い、講義で内容を補いかつ最先端の研究に触れる。実習の目的は、実際の病原体に触れることにより、現実の「もの」をみる感覚を養い、危険な病原体の取り扱い方法について学び、さらに鑑別診断のロジックを体得することにある。時間は限られているので各論で取り上げていない病原体については自己学習とする。

3. 教科書、参考書

書名	著者	出版社	定価
微生物学 基礎から臨床へのアプローチ (2012)	神谷茂、河野茂 監訳	メディカルサイエンスインターナショナル	8,300円
ブラック微生物学 2版(2007)	林英生ら監訳	丸善	7,900円
標準微生物学 10版(2009)	平松啓一・中込治	医学書院	7,350円
戸田新細菌学 33版(2007)	吉田真一・柳雄介	南山堂	15,000円
図説人体寄生虫学 7版(2006)	吉田幸雄・有菌直樹	南山堂	9,450円

4. 成績評価の方法・基準

学習態度および到達目標への達成度を課題レポート（3割）、実習レポート（2割）、発表（1割）、定期考査5割（分担出題）により総合評価し、60点以上の得点をもって合格とする。科目責任者の責任で（分担出題によらず）、再試験・再再試を行うことがある。

5. 教員名

感染免疫学講座：西田教行（教授）中込治（教授）中山浩次（教授）中込とよ子（准教授）石川岳大（准教授）久保嘉直（准教授）新竜一郎（准教授）佐藤克也（准教授）石橋大輔（助教）渡辺健（助教）熱帯医学研究所：平山謙二（教授）森田公一（教授）金子修（教授）濱野真二郎（教授）山本太郎（教授）安田二郎（教授）山城哲（教授）皆川昇（教授）大学病院検査部：柳原克紀（教授）森永芳智（助教）感染制御部：泉川公一（教授）非常勤講師；国立感染症研究所 宮崎義継（部長）

6. 備考

教員の都合により、講義の入れ替えを行うことがある。実習への出席は白衣着用を条件とする。

感染系授業予定表(2年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	26	金	3	感染系ガイダンス	ガイダンス プリオンの生物学的意味	西田	第1
9	26	金	4	ウイルス学総論	ウイルスと人間社会	西田	第1
10	3	金	3	ウイルス学総論	ウイルスの構造と複製機構・病原性	新 竜一郎 (感染分子)	第1
10	3	金	4	個別指導	グループワーク (発表準備) 1-4	西田 (感染分子)	感染分子
10	10	金	3	ウイルス学総論	ウイルス感染と宿主免疫応答 (おもに自然免疫について)	石橋 大輔 (感染分子)	第1
10	10	金	4	個別指導	グループワーク (発表準備) 5-8	佐藤 克也 (感染分子)	感染分子
10	17	金	3	ウイルス学総論的各論	出血熱ウイルス (エボラなど)	安田 二郎 (熱研)	第1
10	17	金	4	個別指導	グループワーク (発表準備) 9-12	西田 (感染分子)	感染分子
10	24	金	3	ウイルス学総論的各論	脳炎を起こすウイルス (JEVなど)	森田 公一 (熱研)	第1
10	24	金	4	個別指導	グループワーク (発表準備) 13-16	佐藤 克也 (感染分子)	感染分子
10	31	金	3	ウイルス学総論的各論	肝炎ウイルス (HBVなど)	佐藤 克也 (感染分子)	第1
10	31	金	4	個別指導	グループワーク (発表準備) 17-20	西田 (感染分子)	感染分子
11	6	木	3	ウイルス学総論的各論	肺炎を起こすウイルス (インフルエンザ・SARSなど)	渡辺 (リーディング)	第1
11	7	金	3	ウイルス学総論的各論	免疫不全を起こすウイルス (HIV)	布施 隆行 (感染分子)	第1
11	7	金	4	ウイルス学実習	採血	中垣 岳大	実習室1, 2
11	13	木	3	ウイルス学各論	下痢を起こすウイルス感染 (ロタ・ノロなど)	中込 治 (分子疫学)	第1
11	14	金	3	ウイルス学総論的各論	腫瘍ウイルス (EBV, HPVなど)	新 竜一郎 (感染分子)	第1
11	14	金	4	中間試験	ウイルス学	西田	
11	19	水	1	ウイルス学実習	血液凝集反応	石橋 大輔	実習室1, 2
11	19	水	2	ウイルス学実習	インフルエンザウイルスの定量	布施 隆行	実習室1, 2
11	20	木	3	ウイルス学実習	インフルエンザウイルスの定量	布施 隆行	実習室1, 2
11	26	水	1	細菌学総論	細菌の構造と分類・グループ発表 1	中山 浩次 (歯学部)	第1
11	26	水	2	細菌学総論	細菌の代謝・グループ発表 2	中山 浩次 (歯学部)	第1
11	27	木	3	細菌学総論	細菌の遺伝学・グループ発表 3	中山 浩次 (歯学部)	第1
12	3	水	1	細菌学総論	化学療法と薬剤耐性菌・グループ発表 4	柳原 克紀 (検査部)	第1
12	3	水	2	細菌学総論	細菌性毒素・グループ発表 5	柳原 克紀 (検査部)	第1
12	4	木	3	細菌学各論	嫌気性菌と滅菌・グループ発表 6	柳原 克紀 (検査部)	第1
12	10	水	1	細菌学実習 1	グラム染色と薬剤感受性試験	新 竜一郎	実習室1, 2
12	10	水	2	細菌学実習 1	グラム染色と薬剤感受性試験	新 竜一郎	実習室1, 2

感染系授業予定表(2年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
12	11	木	4	細菌学実習1	グラム染色と薬剤感受性試験	新 竜一郎	実習室1, 2
12	18	木	3	細菌学各論	抗酸菌・グループ発表7	泉川 公一 (感染制御)	第1
12	25	木	3	細菌学各論	細菌性下痢・グループ発表8	山城 哲 (熱研)	第1
12	26	金	3	細菌学各論	腸内細菌 (1) ・グループ発表9	山城 哲 (熱研)	第1
12	26	金	4	細菌学各論	腸内細菌 (2) ・グループ発表10	山城 哲 (熱研)	第1
1	7	水	1	細菌学各論	クラミジア・グループ発表11	森永部 芳智 (検査部)	第1
1	7	水	2	細菌学各論	マイコプラズマ・グループ発表12	森永部 芳智 (検査部)	第1
1	7	水	3	細菌学各論	真菌 (1) ・グループ発表13	宮崎 義継 (感染研)	第1
1	7	水	4	細菌学各論	真菌 (2) ・グループ発表14	宮崎 義継 (感染研)	第1
1	8	木	3	寄生虫学	寄生虫学総論	濱野 真二郎 (熱研)	第1
1	8	木	4	寄生虫学	線虫学・グループ発表15	濱野 真二郎 (熱研)	第1
1	9	金	3	寄生虫学	吸虫学・条虫学・グループ発表16	濱野 真二郎 (熱研)	第1
1	9	金	4	寄生虫学	熱帯病としての寄生虫学	濱野 真二郎 (熱研)	第1
1	14	水	1	寄生虫学実習	寄生虫学実習	濱野 真二郎 (熱研)	実習室1, 2
1	14	水	2	寄生虫学実習	寄生虫学実習	濱野 真二郎 (熱研)	実習室1, 2
1	14	水	3	感染疫学 (1)	感染疫学の基礎	山本 太郎 (熱研)	第1
1	14	水	4	感染疫学 (2)	国際保健	山本 太郎 (熱研)	第1
1	15	木	3	原虫学	原虫学総論	金子 修 (熱研)	第1
1	15	木	4	原虫学	トリパノソーマ・グループ発表17	金子 修 (熱研)	第1
1	16	金	3	原虫学	マラリア・グループ発表18	金子 修 (熱研)	第1
1	16	金	4	原虫学	腸管寄生原虫・グループ発表19	金子 修 (熱研)	第1
1	21	水	1	原虫学実習	原虫学実習	金子 修 (熱研)	実習室2
1	21	水	2	原虫学実習 (予備)	原虫学実習 (予備)	金子 修 (熱研)	実習室2
1	21	水	3	中間試験	細菌学 (総論)	西田	第1
1	21	水	4	中間試験	細菌学 (各論)	西田	第1
1	22	木	3	熱帯病学	neglected diseases	平山 謙二 (熱研)	第1
1	22	木	4	病害昆虫学	病害昆虫学	皆川 昇 (熱研)	第1
1	23	金	3	ウイルス学	特別講義 スーパーコンピューターと論理的感染創薬	石川 (リーディング)	第1
1	23	金	4	ウイルス学	薬害感染症問題・グループ発表20	西田	第1

* 要確認：12月11日 3時限目：免疫系、4時限目：感染系の授業となっております。

免 疫 系

責任者	氏 名	由 井 克 之	内 線	7070
	教 室	免疫学	e-mail	katsu@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	12:30～13:00		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Immunology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい： 免疫系は、ウイルス・細菌・寄生虫など外界の生物や異物の侵入に対して、個体の恒常性維持のために発達した生体系であり、この系を構成する様々な細胞・分子群は、複雑な相互作用を営みながら秩序正しく行動している。この免疫系の成り立ちの基本原則とその破綻の結果生ずる病態の基礎を理解し知識を身につけることが第一目標である。免疫学は実験医学であり個々の原理は実験によって裏付けられている。これらの実験の基本を理解し、医科学の科学的検証法を学ぶことが第二の目標である。

さらに、学生諸君が自ら「なぜ？」との疑問を發し、医科学における真理の探究とその応用に思いを馳せることを期待する。講義および実習においては、単に事実の羅列や記憶ではなく、その基礎にある科学的思想と実験的検証に対する理解を深め、問題解決能力の養成を重視する。

到達目標： ヒト免疫系の基本的な仕組みと、免疫系に関連して生ずる様々な病態について説明できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

免疫細胞の認識・分化・活性化・エフェクター機能・制御機構を中心に免疫系の基本原則について講義・実習を行う。さらに、外的内的恒常性の変化に対して免疫系がどのように機能するか、またその制御機構の破綻とその病態について講義する。

2. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出 版 社	定 価
Janeway's Immunobiology, 8th ed. 免疫生物学 原著第7版	Kenneth Murphy 笹月健彦 (翻訳)	Garland Science 南江堂	9,375円 8,715円
Cellular and Molecular Immunology, 7th ed. 分子細胞免疫学 原著第5版	A. K. Abbas他 松島綱治・山田幸 宏 (翻訳)	Saunders エルゼビアジャパン	9,247円 10,290円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験（中間試験10%、本試験90%）。但し、出席・実習レポートも考慮する。

5. 教員名

免疫機能制御学（免疫学）：由井克之、都田真奈、木村大輔、Masoud Akbari

免疫内分泌代謝病態制御学（内科学第一）：川上 純

小児病態制御学（小児科学）：森内浩幸

内蔵機能病態制御学（外科学第二）：高槻光寿

皮膚病態制御学（皮膚科学）：竹中 基

非常勤講師：阪口薫雄（熊本大学）、鶴殿平一郎（岡山大学）、吉開泰信（九州大学）

6. 備考（準備学習等）

教科書等の該当する部分を読むこと。

免疫系授業予定（2年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	26	金	2	免疫学入門	免疫系の特徴、免疫細胞と組織	免疫・由井	第1
10	2	木	3	自然免疫	補体	免疫・由井	第1
10	2	木	4	自然免疫	パターン認識受容体	免疫・由井	第1
10	3	金	2	自然免疫	自然免疫応答、サイトカイン	免疫・由井	第1
10	9	木	3	抗原認識	抗体の構造と機能	免疫・由井	第1
10	9	木	4	抗原認識	T細胞の抗原認識	免疫・由井	第1
10	10	金	2	抗原認識	抗原受容体遺伝子	免疫・由井	第1
10	16	木	3	免疫学実習	抗原抗体反応	免疫・木村他	実1
10	16	木	4				
10	17	金	2	免疫応答	MHC	免疫・由井	第1
10	23	木	3	免疫学実習	リンパ球の分離と同定	免疫・都田他	実2
10	23	木	4				
10	24	金	2	免疫応答	T細胞活性化とシグナル伝達	免疫・由井	第1
10	30	木	3	免疫学実習	抗体産生細胞の同定・ フローサイトメトリー	免疫・都田他	実2
10	30	木	4				
10	31	金	2	免疫応答	T細胞の分化と選択	免疫・由井	第1
11	6	木	4	免疫応答	細胞性免疫応答	免疫・由井	第1
11	13	木	4	免疫応答	液性免疫応答	免疫・由井	第1
11	14	金	2	免疫応答	免疫寛容と生体制御	免疫・由井	第1
11	20	木	4		中間テスト	免疫・由井	第1
11	21	金	2		中間まとめ	免疫・由井	第1
11	27	木	4	免疫応答	免疫系の機能解剖学と粘膜免疫	免疫・由井	第1
11	28	金	2	特別講義	B細胞の分化	非常勤・阪口	第1
12	4	木	4	特別講義	感染免疫と生体防御	非常勤・吉開	第1
12	5	金	2	特別講義	抗原提示の分子機構	非常勤・鶴殿	第1
12	11	木	3	免疫と病気	移植	外科2・高槻	第1
12	12	金	2	免疫と病気	アレルギー	皮膚科・竹中	第1
12	18	木	4	免疫と病気	免疫不全	小児科・森内	第1
12	19	金	2	免疫と病気	自己免疫疾患	内科1・川上	第1
12	25	木	4	免疫と病気	自然リンパ球、免疫記憶、ワクチン他	免疫・由井	第1
12	26	金	2		まとめ	免疫・由井	第1

病 理 総 論 系

責任者	氏名	下川 功	内線	7051
	教室	病理学（旧第一病理学）	e-mail	shimo@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	特に時間帯は指定しないが、事前に電話で予定を確認すること		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	General Pathology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

病理学は疾病（病気）の原因や病態を探究する学問である。病理総論では、まず疾病や病的現象について総体的に把握し理解する。人間に病気を起こす原因（病因）や、それに対する生体の基本的な防御機構や反応を学び、それが組織や臓器にどのような形態的、機能的障害を与えるかを理解する。その上で、関連臓器や人体そのものに与える影響を考えていく。病理学を正しく理解するためには、解剖学、生理学、生化学などの基礎教科の十分な知識が要求される。加えて、医学英語に習熟するために、英語の教科書を用いる。疾患名や重要な用語は、英語、日本語とも覚える。以下に挙げた教科書を原著のまま理解できる程度の能力と知識を到達目標とする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義項目：講義予定表を参照のこと。

3. 教科書、参考書等

以下のテキストを中心に講義を行う。

書名	著者	出版社	定価
Robbins Basic Pathology 9th edition	Kumar V, et al	Saunders	99.95 US\$

4. 成績評価の方法・基準

病理総論筆記試験を行う。出席状況、レポートの提出の有無を含め、総合的に評価する。感染症、事故等やむをえない事情により定期試験を欠席した場合、追試験を行うことはある。原則として再試験は行わない。

5. 教員名

病理学：下川功、森亮一、林洋子、朴盛浚
非常勤講師：樋上賀一（東京理科大学）

6. 備考（準備学習等）

授業項目に関連する解剖学、組織学、生理学等の知識を再確認しておくこと。推薦された教科書だけではなく、他の病理学の教科書を読み比べること。

病理総論系授業予定 (2年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	25	木	1	細胞傷害	傷害の原因・機序、傷害の型と形態、	病理1・下川	第1
			2	炎症	炎症の定義と分類。急性炎症	病理1・森	
10	2	木	1	炎症	化学走性因子	病理1・森	第1
			2	炎症	慢性炎症、炎症の組織形態		
10	9	木	1	組織の修復	再生、創傷治療	病理1・森	第1
			2	組織傷害、炎症、修復	実習	病理1・下川、森、林、朴	実2
10	16	木	1	腫瘍総論	腫瘍の概念・定義・分類	病理1・森	第1
			2	腫瘍総論	腫瘍の発育・進展、原因		
12	11	木	2	免疫病理	自己免疫疾患。移植の病理	病理1・森	第1
12	18	木	1	腫瘍各論	上皮性、非上皮性腫瘍	病理1・林	第1
			2	腫瘍各論	実習	病理1・下川、森、林、朴	実2
12	25	木	1	循環障害	充血・うっ血、出血・凝固	病理1・下川	第1
			2	循環障害	血栓・塞栓・梗塞		
1	8	木	1	環境と疾患	物理的、化学的傷害	病理1・森	第1
			2	栄養障害	栄養障害による疾患		
1	15	木	1	遺伝性疾患	遺伝子、染色体異常	病理1・下川	第1
			2	小児の疾患	奇形、発達異常		
1	22	木	1	老化	老化と病態、その制御因子	病理1・下川	第1
			2	特別講義(老化)	脂肪組織と老化、生活習慣病	東京理科大・樋上	
1	29	木	1	感染症	感染症の一般病理学	病理1・下川	第1

腫 瘍 系

責任者	氏名	林 日出喜	内線	7081
	教室	感染防御 (感染防御因子解析学)	e-mail	hhayashi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	9:00-18:00		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Cellular and Molecular Biology of Cancer		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

多くの大学で種々の学科目にわたって教えられている「がん」について、当大学では早くから腫瘍系という独立した学科目の中で取り扱うように時間が組み立てられた。今年度も病理学と並行して学ぶことになるが、マクロ、ミクロの病理所見と、ここで紹介する分子機構との間のつながりを意識しながら勉強を進め、個体、組織、細胞、分子の間を自由に行き来しながら考える能力を養って欲しい。「がん」研究を含めた医学の分野では進展のスピードがますます加速し、教科書、参考書が出版された時点で過去のものになっている。そこで、新しい情報を得るためには電子化された出版物を利用しなければならないことも多い。この系の授業を契機に教科書、参考書として電子版のものを自在に利用できる能力も養って欲しい。

到達目標: 「がん」を分子生物学の言葉で理解する。臨床に進んで「がん」と出会ったときに自ら考え、そして電子媒体を用いて新しい情報、正しい情報を求めることができるための基礎を作る。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

講義

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出 版 社	定 価
Biology of Cancer, 2nd Edition	R. A. Weinberg	Garland Science	10,972円
PUB Medに無料で公開されている以下の4つの参考書を自在に参照できるようにすること		ISBN 978-0-8153-4220-5	
	http://www.ncbi.nlm.nih.gov/books		
Molecular Cell Biology (4th ed.)			
Retroviruses			
Molecular Biology of the Cell (4th ed.)			
Cancer Medicine (6th ed.)			

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験およびレポート (小テストを含む)。小テストは毎回の授業の最後に実施する。出席が2/3に満たなかったものは評価の対象としない。これは厳密に行う。試験は本試験一回のみとし、再試験は行わない。

5. 教員名

感染防御: 林日出喜
 原研放射: 岡市協生
 病院薬剤部: 佐々木均
 臨床腫瘍学: 芦澤和人

医育医療: 田中邦彦
 原研内科: 今西大介
 岡山大学: 鶴殿平一郎

6. 備考 (準備学習等)

腫瘍系授業予定（2年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
10	23	木	1	腫瘍発生機構	がんのシグナル伝達の基礎	医育医療・田中	第1
			2		がんの生物学（1）	感染防御・林	
10	30	木	1	腫瘍発生機構	がんの生物学（2）	感染防御・林	第1
			2		がんの生物学（3）	感染防御・林	
11	6	木	1	腫瘍発生機構	がんの生物学（4）	感染防御・林	第1
			2		がんの生物学（5）	感染防御・林	
11	13	木	1	腫瘍の悪性化	DNA修復異常と発がん	原研放射・岡市	第1
			2		染色体異常	原研内科・今西	
11	20	木	1	腫瘍の悪性化	化学発がん	病薬剤・佐々木	第1
			2	がんへの挑戦	がんと血管新生	感染防御・林	
11	27	木	1	がんへの挑戦	腫瘍免疫	非常勤・鶴殿	第1
			2		腫瘍免疫	非常勤・鶴殿	
12	4	木	1	がんへの挑戦	転移と浸潤の鍵、EMT	感染防御・林	第1
			2		がんと炎症	感染防御・林	
12	11	木	1	がんへの挑戦	臨床腫瘍学入門	臨床腫瘍学・芦澤	第1

基礎医学 TBL

責任者	氏名	西田 教行	内線	7059
	教室	感染分子解析学	e-mail	noribaci@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	4月から7月の木曜日午後4時30分から5時30分		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Team-based learning (I)		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

実際の症例から問題点を抽出し、学習目標を設定し、自ら学ぶ。すでに学んだ基礎医学全般の知識を使えるものにするために知識の整理を行う。医学的知識を用いて実際の患者の抱える種々の問題を理解し、解決するために医師が取った行動、判断について批判的に学ぶ。必要な情報・知識を収集する能力を高め、実践での知識の応用力を養う。同時に病態の理解を具体例の検討をすることで理解を深め、解剖、生理、生化学、組織学、免疫学、微生物学などの基礎医学的知識と用語の復習と再確認を必要に応じて行う。

2. 授業内容（講義・実習項目）

実際の患者のシナリオを入院まで、入院時、入院後と時系列にて提示し、それぞれを読み解く作業をグループワークとして行う。学習課題については自己学習し、グループ内で情報を共有し、議論を深める。授業で自らの考えを発表し、他のグループと意見交換を行う。議論に積極的に参加し、チームワーク医療における個人の役割を理解する。

3. 教科書、参考書

書名	著者	出版社	定価
ハワイ大学式PBLマニュアル	黒川清監修	羊土社	3999

4. 成績評価の方法・基準

出席状況、セルフポートフォリオ、課題レポートの総合判断で評価する。
レポートは基準に満たない場合、再提出を求めることがある。

5. 教員名

感染免疫学講座 西田教行（教授）、佐藤克也（准教授）
放射線生命科学講座 永山雄二（教授）
先端医育センター 田中邦彦（准教授）桑原宏永（准教授）

6. 備考

基礎医学TBL授業予定（2年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	24	水	1	ガイダンス	総論（PBLとTBLとは？）	西田	良順会館ボードウイン
9	24	水	2	PBL（シナリオ 1-1）	シナリオ1（症例1）のシナリオを通してTBLの流れ	西田	専斎
10	1	水	1	PBL（シナリオ 1-2）	シナリオ1-1についてのグループごとの検討・発表	佐藤	良順会館ボードウイン
10	1	水	2	PBL（シナリオ 1-2）	シナリオ 1-2について問題点の抽出・自習	佐藤	専斎
10	8	水	1	PBL（シナリオ 1-3）	シナリオ1-2についてのグループごとの検討・発表	佐藤	良順会館ボードウイン
10	8	水	2	PBL（シナリオ 1-3）	シナリオ 1-3について問題点の抽出・自習	佐藤	専斎
10	15	水	1	PBL（シナリオ 1-4）	まとめ、発表、病態まとめ	西田	良順会館ボードウイン
10	15	水	2	PBL（シナリオ 1-4）	解説・ロールプレイ	西田	良順会館ボードウイン
10	22	水	1	PBL（シナリオ 2-1）	シナリオ 2-1について問題点の抽出・自習	永山	専斎
10	22	水	2	PBL（シナリオ 2-1）	シナリオ 2-1についてのグループごとの検討・発表	田中	専斎
10	29	水	1	PBL（シナリオ 2-2）	シナリオ 2-1についてのグループごとの検討・発表	永山	専斎
10	29	水	2	PBL（シナリオ 2-2）	シナリオ 2-2について問題点の抽出・自習	田中	専斎
11	5	水	1	PBL（シナリオ 2-3）	シナリオ 2-2についてのグループごとの検討・発表	永山	専斎
11	5	水	2	PBL（シナリオ 2-3）	シナリオ 2-3について問題点の抽出・自習	田中	専斎
11	12	水	1	PBL（シナリオ 2-4）	発表、まとめ、ロールプレイ	永山	ボンペ会館 1階
11	12	水	2	PBL（シナリオ 2-4）	解説	永山	ボンペ会館 1階

プレリサーチセミナー

責任者	氏名	西田 教行	内線	7057
	教室	感染分子解析学	e-mail	noribaci@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日午後4時30分～午後5時30分		
対象年次・学期		1年～3年：通年	講義形態	担当教員が講義形態を決定する。
必修・選択		必修 (研究医枠及び熱帯医学研究医枠)	単位数	各1単位
英語名		Pre research seminar		

1. 授業のねらい・目標

基礎医学を担う研究者の育成により卓越した教育及び研究成果を社会に還元することは医学部の使命である。基礎教室配属による少人数教育により基礎科学に必須の基礎的学力や柔軟な応用力を身につけ、科学的思考により問題を解決できる将来の医療人を養うことを目標とする。

2. 配属教室の選択方法

配属教室は、2年次前期終了後に、科目責任者と相談のうえ、仮配属として決定し、3年次のプレリサーチセミナー及びリサーチセミナーで本配属とする。

また、リサーチセミナーの海外実習については、配属教室と相談のうえ、派遣学生としての応募を可能とする。

3. 配属教室

医学部基礎系、熱帯医学研究所及び原爆後障害医療研究所の各教室

4. 授業内容等

1年次：論文研究（ゼミ形式）と各教室研究内容の紹介セミナー

2年次前期：先導生命科学研究支援センター及び共同利用研究センターにおいて、研究医実習を行う。

2年次後期～3年次：配属教室において、研究テーマ・目標を設定し実験を行う。

5. 成績評価の方法・基準

1年次：出席状況及び課題レポート等により総合判断で評価する。

2年次：出席状況及び課題レポート等により総合判断で評価する。

3年次：配属教室での活動、研究成果に基づき配属先の担当教員が100点満点で評価する。

6. 指導教員など

医学部基礎系教室等の教員

7. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

English for International Medicine

Instructors: Luc Loosveldt

Class Time : to be decided

E-mail: lluc@nagasaki-u.ac.jp

Office Hours: to be announced in class

Course Objectives	
<p>This course is designed for students interested in careers in international medicine. Focus will be on developing relevant and effective communication techniques, building fluency in spoken and written English, and reinforcing critical thinking skills in English. The metaphorical language, word collocations and grammar patterns common in medical English will be explored through readings, video and radio programs to further students' command of the language. This course includes an e-learning component that will give students the opportunity for additional practice.</p>	
Required Textbooks	
<p>A range of videos, texts, radio program recordings reporting on global health issues will be introduced in class; all materials will be made available on NU-minds, the English section's website</p>	
Topics	
1	First topic - pre-discussion, useful vocabulary and phrases, assignment of group roles
2	Small group discussion of readings - preparation of introductory presentation
3	Short presentations with Q&A
4	In-group review of short presentations + choosing the next topic
5	Small group discussion of readings - preparation of second short presentation
6	Short presentations with Q&A
7	In-group review of short presentations + choosing the next topic
8	Small group discussion of readings - preparation of third short presentation
9	Short presentations with Q&A
10	In-group review of short presentations + choosing the next topic
11	Small group discussion of readings - preparation of fourth short presentation
12	Short presentations with Q&A
13	Choosing the topic for the final presentation, preparing the poster
14	Review of the poster + practice sessions
15	Final poster presentations + evaluations and review of performance
Course work and Evaluation	
<p>Students will be evaluated on the basis of classwork, assignments, group work, group presentation, on-line forum participation, written assignments, and review tests. A detailed breakdown of the evaluation process will be provided in class.</p>	
<p><i>*The above syllabus is meant as a general guide of some of the topics that will be covered, not a definite time table.</i></p>	

医学ゼミ

責任者	氏名	西田 教行	内線	7057
	教室	感染分子解析学	e-mail	noribaci@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日午後4時30分～午後5時30分		

対象年次・学期	1年：前期、後期 2年：前期、後期 3年：前期 4年：前期、後期	講義形態	担当教員が講義形態を決定する。
必修・選択	必修	単位数	前期、後期各1
英語名	Small group medical seminar		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

必修選択の科目であり、各科目10名前後の少人数教育を行う。自らが特に学習したい分野を選択し、その分野についてコアとなる教科内容を越えて特定の内容を深く掘り下げる学習を行う。当該分野の医学・科学に対する探求心・問題解決能力の育成と、より深い理解を目指す。少人数で担当教員との双方向性の授業を行うことにより教官と親しく交流すると共に、1年次から4年次まで学年間の壁を越えて共に学ぶ環境を提供する。AO学生は、医学ゼミを通して当該領域の知識を深める。

2. 授業科目の選択方法

- A. 各開講科目について、教育目標、授業内容、担当教官、開講場所、開講時間帯等を公示する。
- B. 各学年開始前に、前期・後期別に受講希望科目を学務係に提出する（第3希望まで）。
- C. 第1希望を優先し、各科目へ学生の割り振りを行う。

3. 教科書、参考書等

担当教員が提示する。

4. 成績評価の方法・基準

1、2年次前期・後期、3年次前期、4年次前期・後期に開講する。3年次への進級には2年次で1単位以上、4年次への進級には3年次までに2単位以上、5年次への進級には4年次までに3単位以上修得する必要がある。卒業のための最低修得単位数は3単位である。

5. 指導教員など

医学科、熱帯医学研究所、先導生命支援センター教員

6. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

平成26年度「医学ゼミ」開講テーマ一覧(2年生)

教室名	責任者名	ゼミテーマ (サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	受講可能 人数	開講時間	場所	評価方法	備考	受講可能 人数
龍馬への地域 医学講座 地域 医療学分野	前田隆浩	しまで学ぶ地域 医療学入門	鳥取県における地域医療の現状を見て、地域における保健・医療・福祉の役割と連携、そして地域包括医療についての基礎を理解する。	長崎県龍馬をはじめとした地域医療の環境に添って(原則3泊4日)、地域医療に関する講義、ワークショップ、施設見学あるいは体験実習を行った上で、地域医療と地域包括ケアについての討議を行う。	1年前期 2年前期 3年前期 ※原則、地域枠対象。	24名	8月22日(金)～8月24日(日)が前泊は不要です。	長崎県五島市	出席・発表・レポート	地域枠入学生を対象とする。地域枠入学生以外の学生の希望については、定数に空きがある場合に受け入れる。卒業費についてはゼミを通して4000円/人を予定しています。	24名
熱研内科	有吉紅也	熱帯医学入門	授業のねらいは、将来熱帯医学研究医を目指す学生に、熱帯医学における基礎医学研究の重要性を理解させ、熱帯医学に関する幅広い視野を持たせることにある。その方法として、本学において進行中の基礎医学研究活動を紹介し、本学の取り組みに興味を喚起させる。	熱帯医学に関する基礎医学研究を実施している本学医学系基礎研究分野教室及び熱帯医学研究所基礎教室の教授が、各分野の背景を平易な用語で説明しながら、研究活動の概要を紹介する。	1年前期 2年前期	10名程度	月曜日5校時	熱帯医学研究所1階 小会議室	出席状況、レポート(英文)提出等を考慮して評価する。	熱帯医学研究医AO学生を優先	10名程度
地域医療学	前田隆浩	地域医療学入門	地域医療の現状について、自ら調べ、地域のプロフェッショナルから話を聞き、地域医療を理解する。	・地域医療に関する論文や記事、教科書、書籍をまとめる。 ・WS形式で知識を共有し理解を深める。 ・実際に地域医療の現場のプロフェッショナルに話を聞く。 ・現在の地域医療について把握し、地域医療の今後について考える。 ・月に一回程度行われる、地域医療の現場で働く人を迎えて行う研究会に出席する。	1年前期 1年後期 2年前期 2年後期 3年前期 3年後期 ※1年は地域枠のみ、4年は定員に満たない場合入欠。	10名	水曜日夕方17時～18時30分(1回授業) 月一回程度金曜日17時30分～20時30分(地域医療研究会)(4回授業) 上記2つ全てに出席が必要でず。	地域医療学分野セミナー室 (医学部基礎棟6階)ポルベ会館(予定)	出席レポートとゼミ受講態度	1年次は地域医療枠の学生のみ受け入れる。4年次は定員に満たない時に受け入れる。	10名
原研国際	高村 昇	国際保健入門 (2)	一年時に引き続き、AO国際枠で入学した学生を中心に、世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、国際保健に関する成書の輪読を行い、あわせて国際保健に関する施設見学を行う。勿論、一般入試での学生も歓迎する。	「Textbook of International Health」をはじめとする国際保健関連の英文資料を輪読することで国際保健、国際医療の実態についてより深い理解を得る。	2年後期	10名	月曜日5校時	原研3階3コミュニティセンター	出席状況、ゼミにおける発表内容等を考慮して評価する。		10名
肉眼解剖	笠本 敏行	解剖学実習をもう一度(内臓学を中心に)	臨床科目を履修した2学年の学生が、その年の科目との連携を意識しながら肉眼解剖実習を再体験する	2年生学生の人体解剖実習の進行に合わせて、内臓系を中心に2連体の解剖を自ら進める。①胸郭・肺・縦隔・膈・上腹部臓器②下腹部臓器③膀胱・膵臓④小腸・大腸⑤後腹膜臓器⑥背脊内臓の背盤の神経・血管⑦視床・視床・視床	3年前期 4年前期	30名まで	木曜日5、6校時 内臓が解剖できるようにする期間(5、6月)に集中的に計8回開講します。	解剖実習室	出席、レポート、質疑応答	木曜日5、6校時に参加できる人に限る	30名まで
組織解剖	小路 武彦	エビジェネティクスとその調節機構による疾患について考える	ヒトは一つの受精卵から発生し、多くの種類の細胞の増殖、分化し、死が適切に制御され恒常性を維持している。DNAのメチル化、ヒストン修飾といったエピジェネティックな調節機構がこれらの制御に於いて中心的な役割を果たすと考えられており、その異常は癌を始め様々な疾患を引き起こす。そこで、日本語の総論を読み、エビジェネティクス研究の歴史及び最新の知見を輪読するとともに最新の研究論文から疾患との関わり、治療への応用の可能性について議論する。	エビジェネティクスについての基礎的知識、研究の歴史について総論から学習した後、最先端研究の原論文を読みその内容を発表する。原著論文を読むことにより医学的な課題に対する科学的なアプローチ法の一歩を学ぶとともに、科学英語の読解能力、プレゼンテーション能力を養う。	3年前期	10名	金曜日1校時	小会議室	発表内容と議論への参加態度並びに出席にて判定		10名
神経形態	森 望	Neuroanatomy of the Mind:心の神経解剖学	神経解剖学、神経生理学の知識をベースに「認知」「意識」「認識」「感性」「行動」「意欲」等の脳内原理を理解する。その上で、「心」がどう生まれ、成長し、自律し、あるのか、あるはず、抑らざるのか、自分の頭で考える。脳神経科学、精神医学への横断的とする。自らの頭で考え、自らの言葉で語り、自らのスタイルで発表できるようにする。	脳には形があるが、心には形がない。しかし、心は脳内に生まれる。では、脳にはどう形成されるのか?現代の神経科学、脳科学の知識をベースに、心の形成のナゾへ進む。	2年前期	10～15名	金曜日1校時	視聴覚室 または セミナー室	出席、発表内容、質疑応答、レポート		10～15名
神経生理	藤原 一之	心の個人差・発達障害の脳科学	英語論文、原書輪読を通して、心の個人差・発達障害の脳科学的なメカニズムについて理解を深めるとともに、英文読解・プレゼンテーション能力を養う。	近年、性格をはじめとした心の個人差、及び、社会的コミュニケーション能力障害を患う発達障害者と、脳機能・認知・遺伝的多量・内分必機能との関わりが明らかになりつつある。そこで、これらの個人差・発達障害の生物学的基盤に関する最新の研究論文を読み、その内容に関するプレゼンテーションを行う。また、心の科学で用いられる脳機能計測・行動計測技術に関する実習を行う。これらの活動を通して、心の科学に関する理解を深めるとともに、臨床・研究活動に必須の英文読解・プレゼン能力を身につける。	2年前期 3年前期	10～15名	金曜日1校時	医学部基礎研究等1F セミナー室	出席、レポート、発表資料を総合的に評価する。		10～15名
薬理学	有賀 純	論文から学ぶ薬理学	分子発生学の最新の知見に触れ、深く理解することで、再生医療に取り組み興味を喚起する。	実験動物を用いた行われた発生学・再生医学の研究論文のうち、研究の進め方に大きな影響を与えたと重要な英語論文を選び、その内容を発表・議論する。	2年前期 2年後期 3年前期 4年後期	10名	金曜日1校時	薬理学教室セミナー室	出席状況、発表内容を考慮して評価する。		10名
探索病理学	下川 功	新しい病理学	1)創発例の検討を通して、疾患の発症から死に至る過程を理解する。2)検討内容を発表する方法を学ぶ。	創発例の症例検討、発表	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	病理学第一医局図書室	症例を検討する姿勢、発表内容について総合的に評価する。	希望者が3名未満の場合は、開講しない。開講時は原則定数の通りであるが、自主学習を奨励するので、全員が集まる時間帯は、受講者と調整する。	10名
免疫機能	由井克之	論文から学ぶ免疫学	重要な原書論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根拠にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を養う。「免疫学」の授業を履修した2年生を対象とするが、電欠ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄録会を行う。学生があらかじめ自習した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	免疫機能制御学分野 集議室	発表内容、参加態度、レポート、出席を総合的に評価		10名
分子疫学	ブニータ・ゴーンチャン 中込 治	成書で読む熱帯医学(ウイルス性胃腸炎の世界)	日本の疫学と欧米(に限らないが)の疫学の違いの一つは、reading assignmentの量である。英語が共通の媒体となるグローバルヘルス・熱帯医学の分野に興味のある学生を対象に、この分野の標準的教科書のOne chapter (viral gastroenteritis)を読むことを通して、教科書の読み方を習得する。	英国の熱帯医学の成書であるManson's Tropical Diseasesおよび米国のHunter's Tropical Medicine and Emerging Infectious Diseasesのviral gastroenteritisの章を学生が分担して読むこと(訳読することではない)により、①着点を説明するとはどういうことか、②著者がどのような文法的エビデンスに基づいて記述されているか、また、③著者がどのようにまとめているかを理解する。	2年前期 3年前期 4年前期	1～8名	金曜日1校時	分子疫学教室	出席・発表・レポートで総合的に評価する。	熱帯医学研究医コースの学生およびこの分野に興味のある学生を対象。本ゼミはすべて英語で行う。	1～8名
公衆衛生	青柳 深	論文から学ぶ公衆衛生学	文献を通して医学の社会性について学ぶ	公衆衛生学に関連した論文を各自が紹介・発表し、討論する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	公衆衛生学資料室	積極性、レポート		10名
法医学	山本琢磨	異状死とは?死者からの伝言	法医学教室ではさまざまな死と遭遇する。事件事故でもあれば犯罪でもあれ、死には必ず原因がある。死には常にその原因が付随している。各々の症例についてそんな観点から考え、異状死(突然死)について医療人としての理解を深めてもらう。	各症例の事件発生即報書、死体検案書、解剖後遺記録などを参考にして、「なぜ起きたのか」、さらには「防ぐにはできたのか」を考え、適宜、論文検討を加え、最終的に症例報告として報告書まとめる。	4年後期	10名以下	金曜日1校時	基礎棟6階法医学教室 大学院セミナー室	総合的に評価する		10名以下
第一内科	川上 純	臨床実地問題から学ぶ神経、内分分泌、リウマチ・膠原病学	苦手分野とされる国家試験、卒業試験問題の演習を行い、克服する	国家試験、卒業試験問題の演習を通して病態の把握が不十分な点について解説する	4年後期	6名	木曜日17時～18時30分	本棟9階019多目的室	総合評価		6名
第二内科	松瀬 厚人	内科診療実践講座	教科書を読むだけではわからない、内科臨床医に求められる実践的な判断力、手技を身につける。	模擬病歴、実際の画像、シミュレーターなどを用いて実践的な内科の知識と手技の習得を目指す。	4年後期	10名	金曜日1校時	病院12階カンファレンス室兼、必要に応じてシミュレーションセンターへ移動。	出席状況、レポート、討論への参加具合の評価		10名
消化器内科	市川 廣樹	検査データでどこまでわかる肝疾患	検査データを読むことで肝疾患の本質を探る	電子カルテを参照し症例から学ぶ	2年前期 3年前期 4年前期	15名	水曜日午後5時から1時間	医局9階905号会議室	毎回理解を口頭で確認		15名
消化器内科	市川 廣樹	検査データでどこまでわかる肝疾患	検査データを見ることで肝疾患の奥層を知る	電子カルテを参照し症例を理解する	2年後期 4年後期	15名	水曜日午後5時から1時間	医局9階905号会議室	毎回理解を口頭で確認		15名

教室名	責任者名	ゼミテーマ (サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	受講可能 人数	開講時間	場所	評価方法	備考	受講可能 人数	
消化器内科	田浦 直太	症例から学ぶ肝疾患	肝臓病を基礎から学ぶ	肝疾患についてのレクチャー	1年前期 2年前期 3年前期 4年前期	10名	水曜午後5時から6時	9階医局会議室	セミナーでの内容	高学年優先	10名	
消化器内科	田浦 直太	症例から学ぶ肝疾患	肝臓病を基礎から学ぶ	肝疾患についてのレクチャー	1年後期 2年後期 3年後期 4年後期	10名	水曜午後5時から6時	9階医局会議室	セミナーでの内容	高学年優先	10名	
消化器内科	竹島 史重	GUT CLUB	様々な腸疾患の臨床をより深く学習する	入院、外来の症例検討を行うことで腸疾患に対する興味を喚起するとともに、それに関する最新の英文臨床研究やUp to Dateの抄読会を通じて理解を深める。	4年前期	6名	金曜日18時30分～17時30分	消化器内科医局	出席や差支内容より総合的に評価		6名	
消化器内科	中尾 一彦	臨床実地問題から学ぶ消化器病	国家試験、卒業試験問題の演習を通して消化器疾患に対する理解を深める	国家試験、卒業試験問題の演習を通して病態の把握が不十分な点について解説する。	4年後期	12名	金曜日17時～18時	消化器内科医局	総合評価		12名	
消化器内科	磯本 一	消化管臨床研究最新情報	上部(胃・食道)消化管を中心に、消化管臨床研究の最新情報に関する海外文献・成書を抄読するとともに、実際に内視鏡検査などを使ったモデル体験などを通じて、消化器内科と、そして内科学の興味を養う。	上部(胃・食道)消化管を中心に、消化管臨床研究の最新情報に関する海外文献・成書を抄読するとともに、実際に内視鏡検査などを使ったモデル体験などを通じて、消化器内科と、そして内科学の興味を養う。	4年後期	5名	月曜日8時	内視鏡室	出席レポート		5名	
循環器内科	前村 浩二	心電図道場(実地から学ぶ心電図判読)	心電図に対する苦手意識をなくし、おもしろく判読ができるようになることをめざす。	講義で学んだけでは、心電図判読に苦手意識を持つ学生が多い。心電図判読のコツは最初に心電図判読の方法を理解した上で、多くの症例の心電図を自分で読んでみることである。本ゼミでは、さまざまな症例の心電図を自分で実際に読んでもらい、それを添削しながら判読のコツをつかんでもらう。後半では症例に即してクイズ形式で読んでもらう。	4年後期	10名	金曜日8時	病院本館3階ゼミナール室(906)	出席率、討論参加度			10名
精神科	小澤 寛樹	映画から見る精神医学	具体的イメージに親しい精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画やドラマなどの映像を通して、人の心に対する理解を深め、自己の考え、感情を論理的・能動的に議論することを目的とする。	精神疾患を取り扱った映像作品を毎回取り上げ鑑賞し、1人1人がその内容に関して事前課題や資料発表、質疑応答プレゼンテーション。また様々なトピックのディスカッションを実施する事で、能動的な参加姿勢を養う。	2年後期 3年前期 4年後期	10名 (希望者数が超過した場合は、別途課題を課し選考の可能性あり)	原則として水曜日5校時(17時開始)。但しは初回時に参加する人と協議して決定	第3(或第4)講義室	授業後に行うディスカッションへ参加意欲の割合50%、各回の提出レポート・最終回の提出課題の内容50%	毎回映画の視聴後にテーマディスカッション、解説講義を2時間まで行います。期間内で5校時以降に他科目を受講する必要のある人、その他予定のある人などは、その点留意して下さい。	(希望者数が超過した場合は、別途課題を課し選考の可能性あり)	
精神科	小澤 寛樹	医療経済・政策を考える	医療従事者に必要な経済的素養、政策動向などを学ぶ	本ゼミでは参加者々々による研究発表や医療業界・医療に関する政策担当者などを招いて講演を聞きながら進めて、医療従事者として必要なビジネス・経営に関する素養を育成する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名 (希望者数が超過した場合は、別途課題を課し選考の可能性あり)	原則として水曜日5校時(17時開始)。但しは初回時に参加する人と協議して決定	第3(或第4)講義室	ディスカッション等へ参加意欲の割合50%、各回の提出レポート・最終回の提出課題の内容50%	毎回テーマディスカッション、講義等を2時間まで行います。期間内で5校時以降に他科目を受講する必要のある人などは、その点留意して下さい。	(希望者数が超過した場合は、別途課題を課し選考の可能性あり)	
精神科	今村 明	児童・思春期の精神医学を考える	精神医学の世界に於いて児童・思春期の精神医学はその社会的な重要性に比べて、専門家から不足している領域である。本ゼミでこの分野を中心に取り上げ、学ぶこと、実践していく。	児童・思春期精神医学についての概要を学んで、日本語文献だけでなく、英語文献も含め、正確な知識を学ぶ。映像作品等での視覚的学習も随時実施する。時間が許せば、研究発表として各分野の最新研究、実地に出張も行うという考えである。	2年後期 3年前期 4年後期	10名程度	月曜又は水曜日の夕方(19時以降)	精神科医局(※予定)	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出してもらう課題の成果 ③以上を総合的に判断する	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。	10名程度	
精神科	丸岡 雅弘	ハトグラフィと司法精神医学を究める	ハトグラフィ(前科学)とは、過去の個人を対象に精神医学・心理学等の視点からその生涯での疾患の発症を分析する。この手法は司法精神医学等にも応用される。本ゼミではこれを学ぶ。	ハトグラフィについて、まず基礎的な知識を学ぶ。その上で参加者一人(又はグループ)毎に、実際に特定の人物(過去だけでなく現代人や事件等をも含む)について、ハトグラフィによる分析を実施する。映像作品等での視覚的学習も随時実施する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名程度	月曜又は水曜日の夕方(18時以降)	精神科医局(※予定)	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出してもらう課題の成果 ③以上を総合的に判断する	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。	10名程度	
小児科	中嶋有美子 (高内治学)	文学作品から読む小児疾患	小児疾患が登場する文学作品を読み、それ以外の時代に描かれた小児疾患について考察すること。小児疾患の特徴、医療の進歩、社会環境の変化について双方向性の学習の中で理解を深める。	大江健三郎、三島由紀夫、松本清張、宮部みゆき、アガサ・クリスティ、らの作家の作品から小児疾患が登場するものを抜き、作家が描く小児疾患像を通して作中の思いやその時代における小児疾患をより深く社会環境について考察する。併せて現在の医療環境と比較して、医療の進歩・社会環境の変化について考える。	2年前期	8人以下	金曜日1校時	10階医局カンファランス	出席率 レポート			8人以下
腫瘍外科	大森隆之 日置重和	腫瘍下手術入門	外科系部門では専門に応じた腫瘍下手術がさまざまな分野で、さまざまな分野でその技術が応用されている。腫瘍下手術の歴史、理論を学びながら、実際に腫瘍下手術を体験して最新の外科治療を体験してもらう。	腫瘍下手術の基礎を学んだ後に実際にシミュレーターを使って体験してみる。基本的な機器の使用からより高度なテクニックに挑戦する。機会があれば手術を体験したシミュレーション手術に参加する。	3年前期 4年前期 4年後期	4名	水曜日5校時	腫瘍外科医局、シミュレーション教室	期末レポート			4名
特種・消化器外科	江口 晋	Nagasaki Club 外科の入門編から実践まで	外科の入門編から実践までには国試対策まで幅広く、進捗の調整による座談会形式のゼミです。外科実技や実習も取り入れ、実習的な能力アップも図りたいと思います。	1. 外科の歴史(長崎の外科から世界の外科の歴史まで) 2. 外科の基本手技(縫合、腫瘍下手術実技などの実技を含みます) 3. 診療、学会発表に役立つ英会話 4. 外科におけるEBM(論文の見方、読み方教えます) 5. 消化器科の温故知新・ビルドアップして知ってる? 6. 国試に出る外科学(2年生にも分かり易く解説します) 7. 特種についてとくに語る 8. 乳癌科のトピックス 9. 小児外科が未来の子供に出来ること 10. 未来の外科学(ロボット手術、再生医療) 11. 先輩外科医から聞く深い話(座談会形式で聞く語り合います)	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日5校時	特種・消化器外科医局 (第二カンファ)	出席・ディスカッション内容	講義内容、履修は予定であり若干の実習があります。		10名
泌尿器科	井川 草	マンガで学ぶ泌尿器科ってなんぞ?	本ゼミを初歩の泌尿器科学入門と位置づけ、マンガという身近な教材を用いて泌尿器科の要所・特長と特徴を知り、さらに発展させて現代医学医療の基本部分の理解へもつなげていく。	泌尿器科の解剖、機能および疾患の特徴などを直感的に捉えられるように、主にマンガやビデオ等のメディアを用いて、学生自身が可能な限り参加を行う。これに必要教材からの補足を伴う。また、簡単なプレゼンテーションやクイズやクイズ対決なども行う。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	泌尿器科医局	出席率、討論への参加度、発表レポートなど			10名
産婦人科	増崎英明 長谷川小ひ	産婦人科の最新情報	産婦人科は主に産科、婦人科、産科、産科内分科および女性のヘルスケアの領域からなります。つまり、女性の一生をみる産科です。そこで、産婦人科が提供する医学ゼミでは、妊娠・出産、胎児、あるいは月経異常など様々な産科に関する話題を取り上げ、活発な議論を通じて産婦人科の最新情報について理解を深めてもらいます	産婦人科領域のトピックスを取り上げたプログラムを企画しています。参加者は学生のほか、産婦人科医師、研修医、助産師が参加しています。周辺地域の関連病院の勤務医および関係者も参加します。周辺地域の関係者から大学病院以外の産科専門医に寄せられた症例を取り上げて、管理・治療上の問題点や産科救急について討論します。ついで、各週の担当講師が産婦人科に関する最新の論文や、トピックスについて質疑を受けながら解説していきます。研究についての報告も含まれます。新設には積極的に参加してください。	2年前期 2年後期 3年前期 4年前期	10名	火曜18:30～20:30	病院外来棟11階 産婦人科ゼミ室	レポート			10名
病態病理	福岡順也 加馬志郎 田中伴典	肺がんの病理診断(基礎)	一つの疾患(今回は肺がん)を通して、疾患の病理診断のノウハウと基本的な問題点を学ぶ	肺がんの病態から始まり、肺がんの病理組織を学び、最新の診断と治療に関するアップデートを行う。これにより病理診断がどのように臨床に活かされているかを知ることを目指す。	1年後期 2年後期	10名	金曜日1校時	病院2F病理部第5室	理解度とディスカッションのレベル			10名
病態病理	福岡順也 田中伴典 加馬志郎	肺がんの病理診断(応用)	不明の病態に迫るディスカッション	最近の論文や症例を通じて病態を理解するディスカッション主体のゼミ	3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	病院2F病理部第5室	理解度とディスカッションのレベル			10名
臨床検査	神原 克紀	Molecular Diagnostics	遺伝子検査方法について、理論と応用を学ぶ	様々な遺伝子検査法や分子生物学的理論をプラクティカルに学ぶ目的で、『Molecular Diagnostics, 2nd edition, Lela Buckingham』の編集を行っている。病・遺伝性疾患・多型・感染生物の診断など、これからの臨床検査に求められる遺伝子検査法について理解を深める。上記テキストが採り扱った場合は、目的にかなう他の文献を教材とする。	3年前期 4年前期	10名	月2回水曜18時～19時	病院外来棟12階 臨床検査医学局カンファレンスルーム	出席、議論参加			10名

教室名	責任者名	ゼミテーマ (サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	受講可能 人数	開講時間	場所	評価方法	備考	受講可能 人数
救命救急センター	田崎 修	症例から救急医療を学ぶ	救急医療に必要な基礎的知識や考え方を症例を通して学ぶ	実際に救命救急センターで治療した症例の画像やデータを用いて、治療に必要な基礎的知識、およびその臨床への応用の方法を学ぶ。	1年前期 2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	救命救急センター医局	出席、態度、レポートなどにより総合的に評価する。		10名
へき地病院再生支援・教育環境	岡 漸	離島、へき地医療の達人に学ぶ	へき地や離島医療の現状を学び、これからの地域医療について考える	離島・へき地の第一線で活躍する医師を中心に、地域医療に密接に関係する家庭医や、病棟総合医、プライマドクター等も講師として招き、実情について講演して頂き、地域医療という実践とリアルな物とを認識する。希望者には、講演終了後に、ぜひ皆さんに講師の先生と話ができる意見交換会も予定している。更に理解を深める事が可能である。ゼミの後半には、夏合宿や、実際にへき地や離島医療を体験する離島ツアーも2泊3日程度で開催する予定である。そして、最終日には、これらのゼミで学んだ事や、これからの地域医療について、各自発表を行う。	2年前期 2年後期 3年前期 4年前期 4年後期	10名程度	金曜日5時間目	医学部基礎棟 1階 視聴覚教室	出席、レポート、地域医療に関するプレゼンテーション等で総合的に評価する。		10名程度
先端医療支援センター	安武 亨 山之内幸彰	在宅がん医療・緩和ケア入門	在宅がん医療・緩和ケアの基礎および多職種協働によるチーム医療を総合的に学ぶ。	医・歯・薬・看護等専門職による講義とグループディスカッションにより行う。 医療者共修の場合もある。	2年前期 2年後期 3年前期 4年前期 4年後期	10名	木の18時30分～	テュートリアル室(ただし薬学部の教室等変更もあり得る)	出席、レポート等総合的に評価する。		10名
先端医療支援センター	安武 亨	スポーツ医学概論	スポーツを通じて医学を学ぶ	運動生理学、スポーツ栄養学、スポーツ外傷学、トレーニング法など	2年後期 3年前期	10名	火または木の5校時	医学部セミナー室など	授業参加状況、レポートなど		10名
先端医療支援センター	松本 恵	術前・術後カンファランス	術前、術後カンファランスで実際の手術症例を通して手術適応や術式決定に至る経緯を学ぶことで今後の自分の学習に活かす。	予定手術および術後症例の提示と検討	2年後期 4年後期	2名	毎週金曜日7時30分から	第1外科(腫瘍外科)医局(11階)	出席態度およびレポート内容		2名
先端医療支援センター	松本 恵	術前・術後カンファランス	術前、術後カンファランスで実際の手術症例を通して手術適応や術式決定に至る経緯を学ぶことで今後の自分の学習に活かす。	予定手術および術後症例の提示と検討	4年後期	1名	毎週金曜日7時30分から	第1外科(腫瘍外科)医局(11階)	出席態度およびレポート内容		1名
先端医療支援センター	桑原空水	PBLシナリオ研究会	症例を用いたシナリオを作成する過程でPBL実践を経験する。LAGSを活用することでアクティブラーニングを促進する。	PBLシナリオを班員で作成する。PBL入門のみならず、シナリオを実際に作成することで症例の理解を深める。また、臨床的諸問題の解決に基礎医学的思考が不可欠であることをシナリオ作成の過程で体験する。LAGSを活用することで参加メンバーの双方向的コミュニケーションを図る。	2年前期 3年前期	4名	水曜日17時～18時	第4セミナー室	参加状況、シナリオ作成貢献度、LAGSでのWiki作成貢献度などを総合的に評価します。		4名
先端医療支援センター	桑原空水	OSCE連携	共用試験OSCEを控えた学生に「OSCEとはなに?」「診断学との違い」を解説し、共用試験対策を講じる。	OSCE学習用DVDを参考に実技を交えて診断学の基礎を学ぶ。ペイト、サバイラを輪読しながら、要点を解説します。	3年前期 4年前期	4名	水曜日17時～18時	第4セミナー室	参加状況、シナリオ作成貢献度、LAGSでのWiki作成貢献度などを総合的に評価します。		4名
地域包括教育	永田 康浩	医師になるってどんなこと?ー包括医療事始めー	医師として患者治療の意義を知り、これに関わる医療資源と社会資源について認識させる。	最先端医療のゴールは患者さんの社会復帰である。疾病を患った患者が、医療機関で治療を受け、社会に復帰するまでに、どれだけ医療資源、社会資源を要するかを認識し、理解する。これに関わる、基礎医学、臨床医学、社会医学について考察する。	2年後期	8名	金曜日1校時	医学部セミナー室	出席態度およびレポート内容		8名

English Foundation Skills for Second Year Medical Students

Instructors: Luc Loosveldt
Jim Briganti

Class Time : to be decided

E-mail: lluc@nagasaki-u.ac.jp

Office Hours: to be announced in class

Course Objectives	
<p>This is a continuation of the previous year's English for Medical Students. The course will build on the foundation laid in the previous course, but with a strong focus on developing oral skills. Pecha-Kucha presentations (short, timed slide presentations), debate practice, abstract writing, and poster presentations will give students the chance to practice and develop speaking and writing skills.</p>	
Required Textbooks	
<ul style="list-style-type: none"> • Readings to be assigned in class and made available on the course's website 	
Topics	
1	Introduction and overview of the course, introduction to the Pecha-Kucha presentation
2	Introducing and discussion of topics for first group presentation+ building your Pecha-Kucha (PK); introduction of the rubric
3	Debate and listening practice; expressing ideas between ideas;
4	Reviewing the PK scripts; PK practice; using the rubric to review PK performance
5	First PK sessions
6	Writing an abstract + introduction on how to make a poster
7	First poster session practice + script review
8	First poster session
9	Topics for second group presentation - preparing spoken summaries
10	Introducing the presentation topics for peer evaluation
11	Reviewing the PK scripts; body language and intonation to convey meaning
12	Second PK sessions
13	discussion and review of second abstract + introduction on how to make a poster
14	Second poster session practice + script review
15	Fnal Poster Sessions + evaluations
Course work and Evaluation	
<p>Students will be evaluated on the basis of classwork, assignments, vocabulary quizzes, group project, written work, and written research proposals. A detailed breakdown of the evaluation process will be provided in class.</p>	
<p><i>*The above syllabus is meant as a general guide of some of the topics that will be covered, not a definite time table.</i></p>	

